

地域おこし協力隊着任のお知らせ



委嘱式の様子

10月1日㊦、布施 和樹さんが湯浅町地域おこし協力隊に着任しました。

布施さんには、空き家に関する相談や活用などを中心に活動していただきます。

地域おこし協力隊とは

都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移して、農林漁業や地域コミュニティ活動、地域製品の生産・加工・開発に関する活動、地域や地域製品の情報発信・PR活動など、地域おこしに関するさまざまな活動を行いながら、地域への定住・定着をはかる取組です。

地域おこし協力隊トークイベントを開催しました

10月23日㊦、湯浅えき蔵3階で、地域おこし協力隊の活動を紹介するトークイベントを開催しました。

当日は約31名が参加し、現役隊員の前口 あかねさんからは、これまでの活動の紹介、新たに着任した布施 和樹さんは、今後の活動に向けた意気込みを語りました。



前口 あかねさん

布施 和樹さん

「第42回和歌山県小学校人権の花運動」を受賞しました

「人権の花運動」は、次代を担う小学生が協力して花を栽培することにより、優しい思いやりのある心を育むことを目的として、和歌山県人権啓発活動ネットワーク協議会主催で毎年実施されています。

今年は、県内123校の小学校等から応募があり、審査の結果、湯浅小学校が最優秀賞を、山田小学校が奨励賞を受賞しました。



【最優秀賞】湯浅小学校



【奨励賞】山田小学校



三つ子が生まれました



(左から) 朱音ちゃん、鈴臣ちゃん、咲心ちゃん

湯浅町に女の子（2人）と男の子（1人）の三つ子が誕生しました。

地域のみんなで子どもたちのすこやかな成長を見守りましょう。

第10回ビブリオバトル有田郡大会チャンプ本決定！



『有罪、とAIは告げた』 中野七里-著
湯浅中学校3年 前田百愛さん (写真中央)

9月8日㊦、湯浅えき蔵にて、第10回ビブリオバトル有田郡大会が開催されました。パトラー（発表者）がそれぞれおすすめの本を観客に紹介し、観客は最も読みたいと思った1冊に投票するこの大会で、中学生の部では湯浅中学校の生徒が、見事チャンプ本に選ばれました。

歴史をたずねる道ウォーク「飛鳥路を歩く」を実施しました



10月11日㊦、公民館事業として歴史をたずねる道ウォークを開催しました。当日は39名が参加し、自然豊かで歴史ロマンあふれる「飛鳥路」を、古代の面影を残す古墳や遺跡、古寺などを見ながら全長約7kmの道のりを巡り歩きました。

「みらい市2024」※に湯浅町PRブースを出展しました



10月11日㊦、12日㊦、東京ビッグサイトで開催された「みらい市2024」において、地方創生の取組の一環として、湯浅町商工会と協力し、観光や特産物等のPRを行いました。

2日間で約2万8千人が来場し、湯浅町ブースも大勢の人々で賑わいました。

※管工機材、住宅設備機器等の総合展示会で7つのテーマを掲げる業界最大級のイベントです。テーマの1つである「地域活性化」の取組みの1つとして、PRブースの出展や物販などを行っています。